

「佐原より潮来へ」塚越としを

辻地蔵佐原の夏を仕切りけり

酒造所の大煙突や夏つばめ

紙問屋朱夏の川風優しかり

忠敬ただたかの屋敷角なり梅雨晴間

小野川やあやめを揺らす舫もやい舟

人ぞ知る大菖蒲園浄土かな

さつば舟棹に腰入れ花菖蒲

花菖蒲江戸紋様の日の揺るる

大利根や水の膨るる菖蒲園

潮来笠斜しやに傾けて汗拭ふ

◆佐原：香取市佐原。市街地を流れる小野川沿いには、江戸後期から昭和初期に立てられた町家や土蔵・洋館などがそのままの形で残されてをり、国指定重要伝統的建造物保存地区である。また、「水郷佐原水生植物園」は、四百品種・百五十万株の花菖蒲を誇る東洋一の規模という。「さつば舟」は櫓（棹）を使う手漕ぎ舟で女船頭により菖蒲田の中を遊覧する。

◆忠敬：伊能忠敬。日本全国を測量して歩き、わが国最初の実測日本地図を作り上げた。伊能図といわれ、測量器具と共に「国宝」に指定されている。展示記念館がある。

◆潮来：潮来市、水郷潮来あやめ園。常陸利根川の支流・前川沿いの百万株の花菖蒲は見事。潮来笠記念歌碑・潮来花嫁さん記念歌碑などあり、賑やかである。

平成二十七年六月